

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2009-54183(P2009-54183A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-270389(P2008-270389)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 6 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のコンピュータおよび第 2 のコンピュータを用いて、患者に対して施与されるべき薬物治療が正しいかどうかを証明するための方法であって、該第 1 のコンピュータ、該第 2 のコンピュータは記録プロセッサを有し、該方法は、

遠隔位置において第 1 のコンピュータに、第 1 のソースからの患者識別子、および第 1 の薬物識別子を提供することにより、薬物治療を患者と関連づけるステップであって、該第 1 の薬物識別子が該患者識別子を含むステップと、

遠隔位置において、該第 2 のコンピュータから患者のアイデンティティに関連する情報にアクセスするステップと、

第 2 のソースからの第 2 の薬物識別子を第 2 のコンピュータに入力するステップであって、該第 2 の薬物識別子が該患者識別子を含み、該第 2 のコンピュータが患者のアイデンティティ、薬物治療、および医療デバイスに関連する情報にアクセスするステップであって、該薬物治療は治療タイプを有する、ステップと、

該第 2 のプロセッサが該薬物治療は該患者に以前に関連付けられているか否かを判定するステップと、

該第 2 のコンピュータが、該薬物治療が該患者に以前に関連付けられていない場合、第 1 のエラー信号を提供するステップと、

該第 2 のコンピュータから該医療デバイスのアイデンティティに関連する情報にアクセスするステップと、

該第 1 および第 2 の薬物識別子が同じ患者識別子を含む場合、該第 1 のコンピュータから該医療デバイスに複数の動作パラメータを提供するステップと、

該第 1 のプロセッサが、該医療デバイスの該複数の動作パラメータが該薬物治療と一致するか否かを判定するステップであって、該動作パラメータは、中央位置から提供され、該動作パラメータは該第 2 のコンピュータを通過することなく該医療デバイスに提供される、ステップと、

該医療デバイスの該動作パラメータが該薬物治療と一致しない場合、該第 1 のコンピュータがエラー信号を提供するステップであって、第 2 のエラー信号が該第 1 のエラー信号とは異なる、ステップとを

包含する方法。

【請求項 2】

前記医療デバイスは、輸液ポンプである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のコンピュータに薬物識別子を提供する工程は、入力デバイスによって生成される信号をコンピュータ読み出し可能媒体フォーマットに変換する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記患者識別子は識別子のグループのうちの 1 つであり、該識別子のグループは、患者の名前、患者の社会保障番号、患者の血液型、患者の住所、患者のアレルギー、病院の患者 ID 番号、病院でのベッドの位置、および患者の親族の名前からなる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記動作パラメータは、動作パラメータのグループのうちの 1 つであり、該動作パラメータグループは、単位時間当たりの薬物の流れ、薬物の量、服用単位、服用持続時間、服用容量、薬の名前、用量単位、およびモニタリング制限からなる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

第 2 のコンピュータに入力するステップは、入力デバイスによって生成される信号をコンピュータ読み出し可能媒体フォーマットに変換する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。